

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	学年
320233	XZY2320233	1	後期	国際学部国際文化学科	専門	選択必修	2年
				国際学部国際文化学科英語集中コース	専門	選択必修	2年
授業科目	担当教員			情報文化学部情報文化学科	×	×	×
中国語 3 a	區 建英			情報文化学部情報システム学科経営コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(26年度以降)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科経営コース(25年度)	×	×	×
				情報文化学部情報システム学科情報コース(25年度)	×	×	×
		情報文化学部情報システム学科(24年度以前)	×	×	×		
授業目的							
中国語2で身につけた語学力を踏まえて、いっそう単語の量を増やし、文法の知識を拡大し、中国語の会話能力を向上させると同時に、読解能力の訓練も行います。この授業は引き続き文法・文型を総合的に学び、それを活用して、国際交流・時事・文学作品をめぐる会話を練習します。また、中国語の新聞記事を選んで読解と問答を行い、あるいは中国の文学作品を演劇にすることによって、いっそう臨場感と実用性に富んだコミュニケーションを実践します。							
各回毎の授業内容							
第1回 【授】動詞の諸形態(1) 【前・後】事後は復習。新しい単語をできるだけ覚える。2時間必要。				第9回 【授】前置詞の諸形態(1) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第2回 【授】動詞の諸形態(2) 【前・後】事前は予習。事後は復習。新しい単語をできるだけ覚える。2時間必要。				第10回 【授】前置詞の諸形態(2) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第3回 【授】形容詞の諸形態(1) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、新しい単語をできるだけ覚える。2時間必要。				第11回 【授】文章構造分析方法(1) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第4回 【授】形容詞の諸形態(2) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、新しい単語をできるだけ覚える。2時間必要。				第12回 【授】文章構造分析方法(2) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第5回 【授】副詞の諸形態(1) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、新しい単語をできるだけ覚える。2時間必要。				第13回 【授】文章における修飾形式(1) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第6回 【授】副詞の諸形態(2) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、新しい単語をできるだけ覚える。2時間必要。				第14回 【授】文章における修飾形式(2) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第7回 【授】助動詞の諸形態(1) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。				第15回 【授】文章における主従複文の諸関係 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。			
第8回 【授】助動詞の諸形態(2) 【前・後】事前は予習。事後はとくに作文を復習し、できるだけ多くの単語を覚える。2時間必要。				第16回 【授】定期試験 【前・後】事前は、総合復習をする。演劇の場合は全部暗誦する。2時間必要。			
成績評価方法							
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							60
小テスト・授業内レポート							30
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							10
成果発表(口頭・実技)							
演習							
その他							
定期試験は 60 %、授業での作文・会話の状況は 30 %、出席の状況は 10 %。 口述試験の成果と問題点を説明します。							
教科書参考書							
楊凱栄等著『表現する中国語Ⅱ』白帝社を予定するが、未定。 必要に応じてコピー資料配布							
受講に当たっての留意事項							
授業の時、辞書を携帯すること。 会話能力の訓練はもちろん、中国語の新聞記事や文学作品にも積極的に挑戦すること。							
学習到達目標							
文法と文章構造の把握・語彙の活用という基礎をしっかりと身に付け、日中学生交流の会話、中国語の新聞記事・文学作品の理解を通じて、一定の中国語実用能力に到達することです。							
JABEE							

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習